



林野庁北海道森林管理局

発行日 2008/06/02

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション

当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援や森林環境教育等の提供、技術指導などを行っています。

森林環境教育の取組

校長会で 森林環境教育をPR

当センターの森林環境教育の支援活動は春の小中学校校長会訪問から始まります。

年度当初、管内各市町村の校長会を訪問し各学校からの要請により森林環境教育の支援を実施していることを説明しています。今年度も森林環境教育の意義と支援内容を理解いただくとともに、取り組み校獲得に向け、釧路町を皮切りに各市町村の校長会訪問をしました。



(この木知ってるかーい。校庭でもできます！)

今年度は、現在のところ知方学小が

六月十日、中茶安別小中が八月二六

日の森林教室の要請がきています。

各小中学校からの要望に併せた取組

を考えていきたいと思っています。

また、森林ふれあい講座は七月下旬

を予定しているところであり、教育

委員会を通じて先生方に参加を呼び

かけていきたいと考えています。

「木のおもちゃで遊ぶ う」展に参加

釧路市こども遊学館では、五月のゴールデンウィーク期間中に「木のおもちゃで遊ぶう」のイベントを開催しました。当センターでは、このイベントの中で「樹木の種って不思議だね」と



(種の形をはさみで切り取って
さあー。飛ばしてみよう！)



(どの輪切り材がいいかなー。あっこれだ！)

「木工自由工作」の催しを行いました。こちらもたくさんの子供や親子連れが遊びに来てくれました。「樹木の種って不思議だね」では、色々な種の標本を展示説明し、種のもつ不思議な魅力の一端に触れてもらいました。その後、紙で作った模型の種を飛ばしてもらいました。「木工自由工作」では、輪切りされた木片や松ぼっくり等を利用し、鉛筆立て等の作品作りに挑戦してもらいました。子供たちは、個性豊かな作品作りに熱中していました。

自然再生事業の取組

土壌凍結深度を調査



(メチレンブルー溶液が管の中に入っていて凍結している部分は白くなっています。3月に入って地表面からも融解！)

平成十二年頃から発生し始めた標茶町雷別地区のトドマツ人工林の立枯被害は、冬季の寡雪により土壌凍結が深く進み、樹木の水分通導機能が極度に低下し、樹冠部に強い水ストレスがかかったことが発生原因と推定されています。しかし、土壌凍結の実態については、詳しく調べられていないのが実態です。

そのため、当センターではこの実態を詳しく把握するため一月～五月まで凍結深度を測定しました。来年度以降も調査を続け分析を進めたいと考えています。

雷別ドングリ倶楽部の活動始まる！

5月24日(土)、雷別ドングリ倶楽部の今年度初めての活動を実施しました。

最初に、雷別地区自然再生事業の試行実験区に植栽した広葉樹苗木の成長観察をしながら、植栽木に番号札の取り付けを行いました。今後は倶楽部で植栽木の成長量調査やシカによる被食量調査に取り組んでいければと思っています。



植栽木の観察中です。この木はミズナラ？

次に、事業地近くの沢まで降りて、春に咲く花を中心にデジカメで植物・樹木の記録をしました。少しずつデータを収集して倶楽部独自の手作り図鑑を作成する予定です。

最後に、倶楽部の今年度の活動計画を話し合いましたが、雷別での自然再生事業に参加する市民活動を支える「縁の下の力持ち」になってもらうために、色々な取組を取り入れて活動していきたいと考えています。



オオバナノエンレイソウ

雷別自然再生学習会を開催！！「美しい森林づくり推進国民運動」参加行事

6月21日(土)

8:15 釧路発

16:00 釧路着

上記時間でバスを運行します。植樹と森林浴を楽しみませんか。申し込みは6月13日まで、また、詳細はふれあいセンターにお問い合わせください。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/

E-mail h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp